

## 第13回藤沢市地域経営戦略100人委員会

と き 2010年(平成22年)9月12日(日)  
午後2時～午後4時30分  
ところ 六会公民館体育室

### 次 第

- 1 開会
- 2 新総合計画基本計画案について
- 3 めざそう値調査の実施結果について
- 4 実施計画の策定について
- 5 その他
- 6 閉会

事務局  
藤沢市経営企画部経営企画課  
電 話 (0466) 50-3502  
ファクス (0466) 50-8402  
e-mail kikaku@city.fujisawa.kanagawa.jp

---

# 「めざそう値」調査の経過報告

2010年（平成22年）9月12日  
地域経営戦略100人委員会（Team238）



# 1. 調査概要

---

## ■ 調査趣旨と活用方法

1. 総合計画基本計画の「市域まちづくり計画（市域全体を視野に設定）」と「地域まちづくり計画（13地区ごとに設定）」に、それぞれ設けられた点検用の「指標」について、「めざそう値（＝藤沢市での経験や知識がある方の実感として、目標年度に到達していると「よりよくなった」といえる水準）」を求めます。
2. 今後、「めざそう値」にどれくらい近づいたかを、継続的に測定し、公表することによって、進捗管理や事業精査、協働事業の推進支援等に活用します。

## ■ 対象者の選定と配布方法

それぞれの「指標」に関わりが深い分野で市民の生活に密着して活動している藤沢市での実感や経験、知識など持つ方々に回答を依頼しました。

- ⇒ 事務局配布：市民活動推進センター登録団体、藤沢市PTA連絡協議会など  
センター配布：センター・公民館関連団体など

### 【対象者選定時・依頼時の調査留意点】

- ★ 「広く訊く」のではなく、藤沢や地域のことを良く知っている人に「深く訊く」もの
- ★ 権威や肩書き、理念の大きさではなく、現在の活動や実態などに精通していること
- ★ 依頼人数を多くするよりも、厳選した方をお願いをする（無理しなくて良い）
- ★ めざそう値は、義務的な目標値ではなく、あくまでも目安。点検するための基準値である。

## ■ 実査期間 平成22年8月21日～9月3日

---

## 2. 回答数と分析方法

---

### ■ 回答数 **1367件**

#### 【方向性別回答状況】

- 方向性 (1) 地域自律型の「藤沢づくり」を育むまち・・・142件
- 方向性 (2) 明日の藤沢を担う「藤沢の子どもたち」を育む環境・・・227件
- 方向性 (3) 市民力・地域力による安全で安心して暮らせるまち・・・227件
- 方向性 (4) 共に生き、共に創る地域社会の創出・・・168件
- 方向性 (5) 豊かな地域資源の次世代への継承・発展・・・127件
- 方向性 (6) 地球温暖化防止など未来の地球環境への投資・・・100件
- 方向性 (7) 「藤沢づくり」を支える都市構造の再構築と地域経済の活力再生・・・108件
- 方向性 (8) 公共資産の維持管理と有効活用・・・122件
- 方向性 (9) 「藤沢ライフスタイル」と「湘南カルチャー」の創出・・・146件

### ■ 分析方法

◎ めざそう値の計算は「**中央値**」で行います。

※ 中央値は、全ての値を大きい順に並べた時に中央にくる数値です。平均値に似ていますが、平均値よりも極端な数値に影響されにくいため、今回、中央値で計算しました。

※ データの個数が偶数の場合は、中央にくる2つの数値の平均を採用します。

◎ 「役割の担い手」に関して

「めざそう値」の実現に向け、**取り組む主体の多様性**を示すものです。  
実施計画の策定時に、今回の調査結果と合わせて指標を設定します。

---

### 3. 今後の予定

#### ◎めざそう値に関する今後の予定

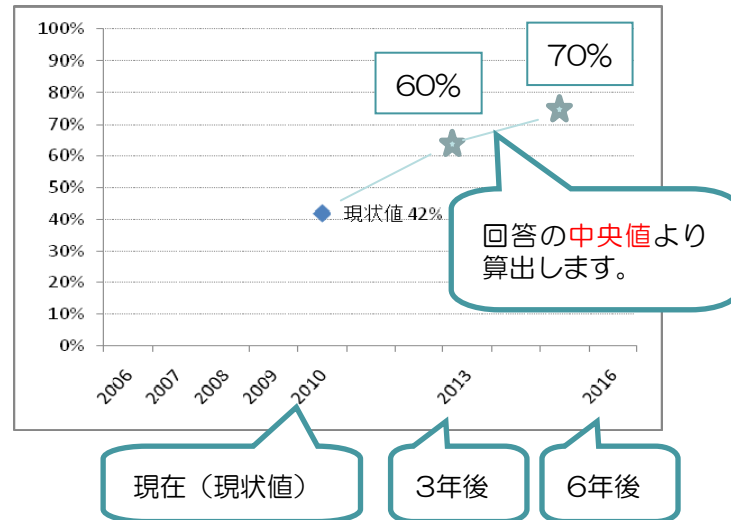
- ・集計結果は9/21の総合計画審議会での報告となります。

#### 【報告例】

1. 「市域まちづくり計画」と「地域まちづくり計画」のそれぞれの指標の値を一覧で提示。
2. それぞれの指標ごとに、値をグラフにする。

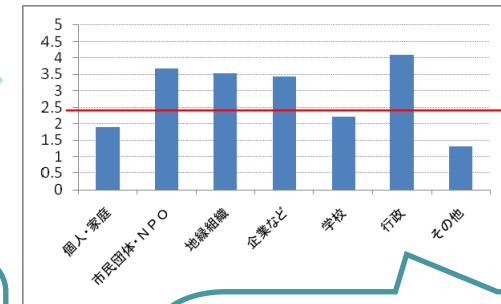
★ 目標の到達度を点検するために、めざそう値に向かう進捗の確認を年度でわかりやすく提示します。

#### ① めざそう値



#### ② 役割の担い手

|                   | 目標達成度が高い | やや大きい | 平均に近い | 小さい | 役割なし |
|-------------------|----------|-------|-------|-----|------|
| 1 個人・家庭           | 0        | 0     | 0     | 0   | 0    |
| 2 市民団体・NPO        | 0        | 0     | 0     | 0   | 0    |
| 3 地域組織（自治会・町内会など） | 0        | 0     | 0     | 0   | 0    |
| 4 企業・商工会議所・農協など   | 0        | 0     | 0     | 0   | 0    |
| 5 学校（幼稚園・保育園を含む）  | 0        | 0     | 0     | 0   | 0    |
| 6 行政              | 0        | 0     | 0     | 0   | 0    |
| 7 その他             | 0        | 0     | 0     | 0   | 0    |

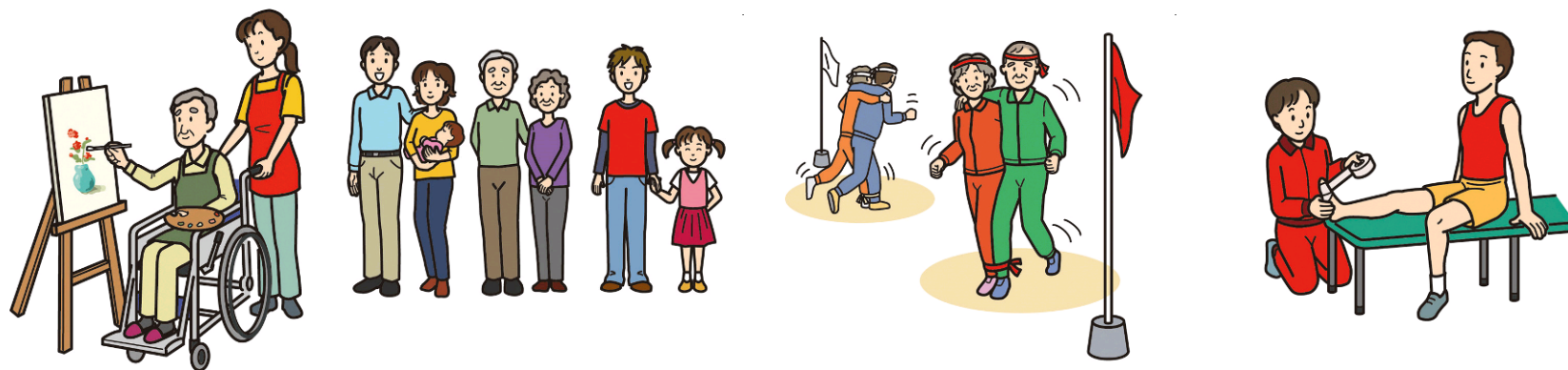


I) 役割の大きさを  
大きい・・・5点  
やや大きい・・・4点  
やや小さい・・・2点  
小さい・・・1点  
役割なし・・・0点  
と、それぞれ点数化します。

II) それぞれの担い手ごとに、**平均の値**を算出します。

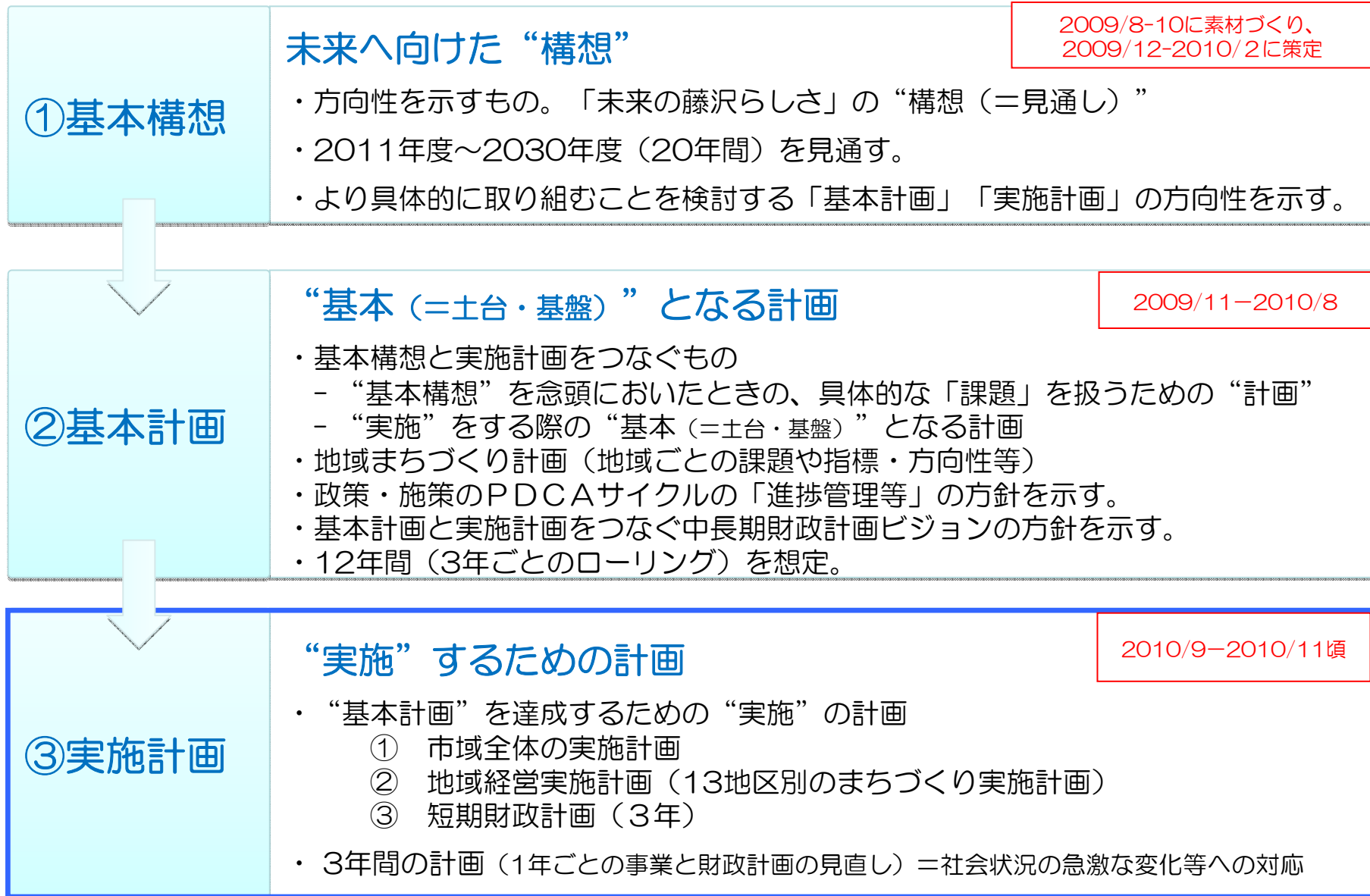
---

# 実施計画の策定について

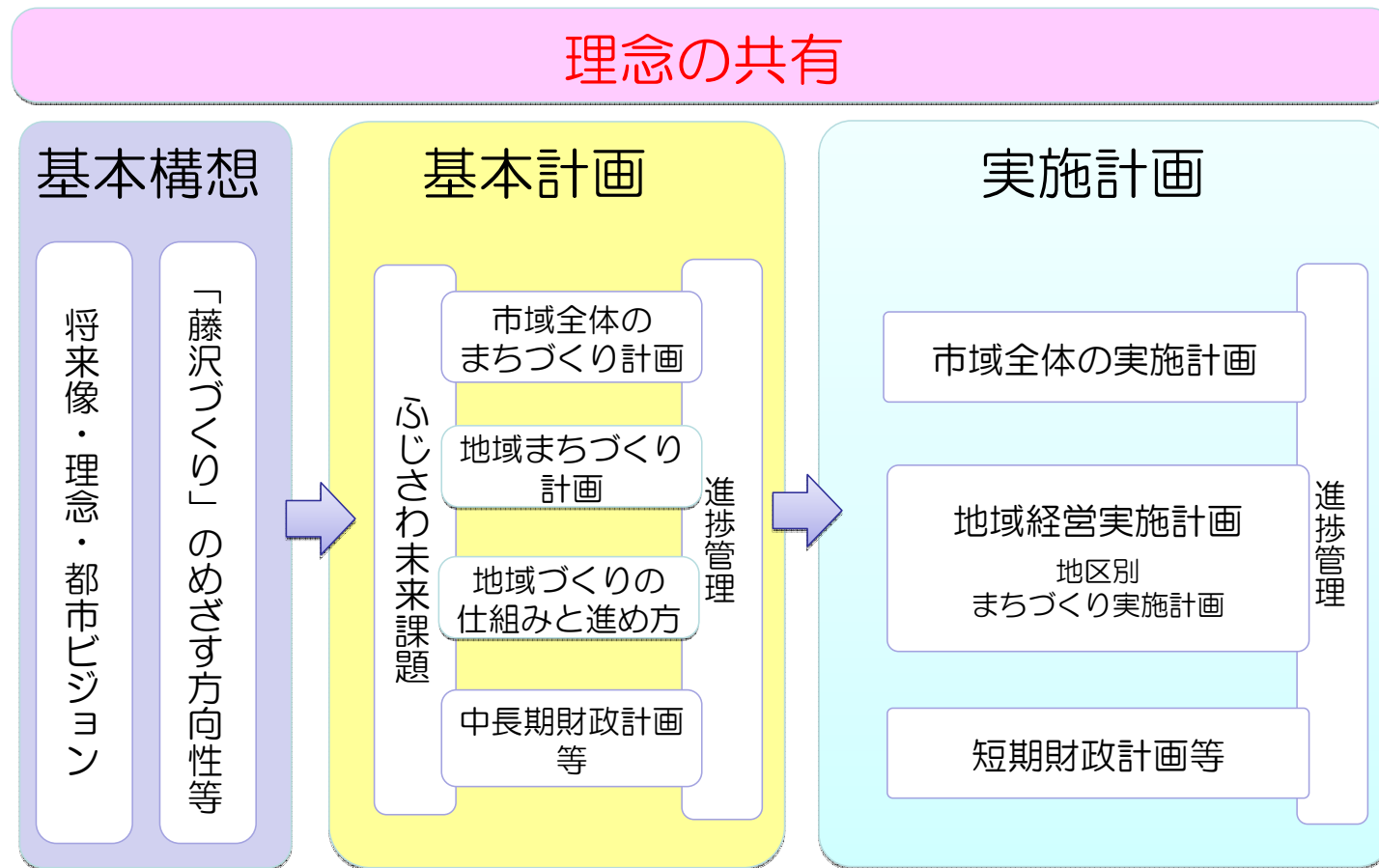


2010年（平成22年）9月12日

地域経営戦略100人委員会（Team238）



基本計画で掲げた「ふじさわ未来課題」の実現を目指して、  
「具体的に実施すること（＝まちづくり事業）」を検討するものです。

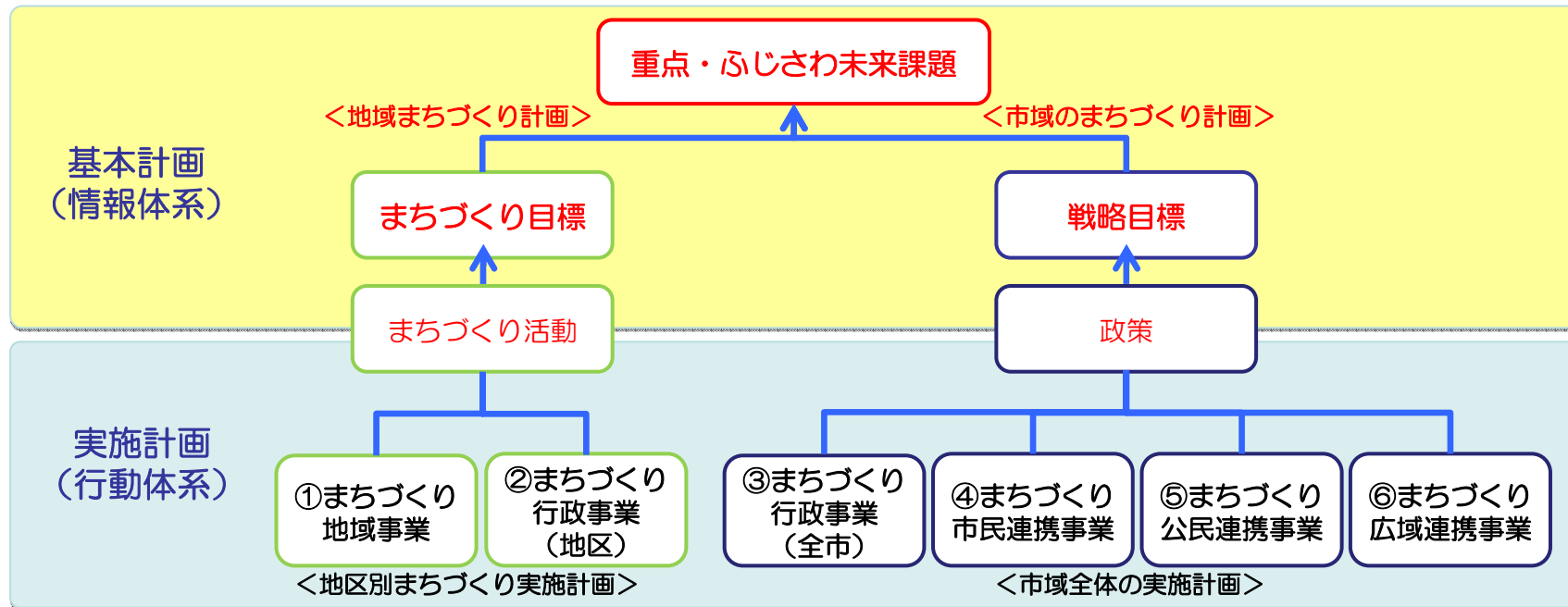




# 「まちづくり事業」について

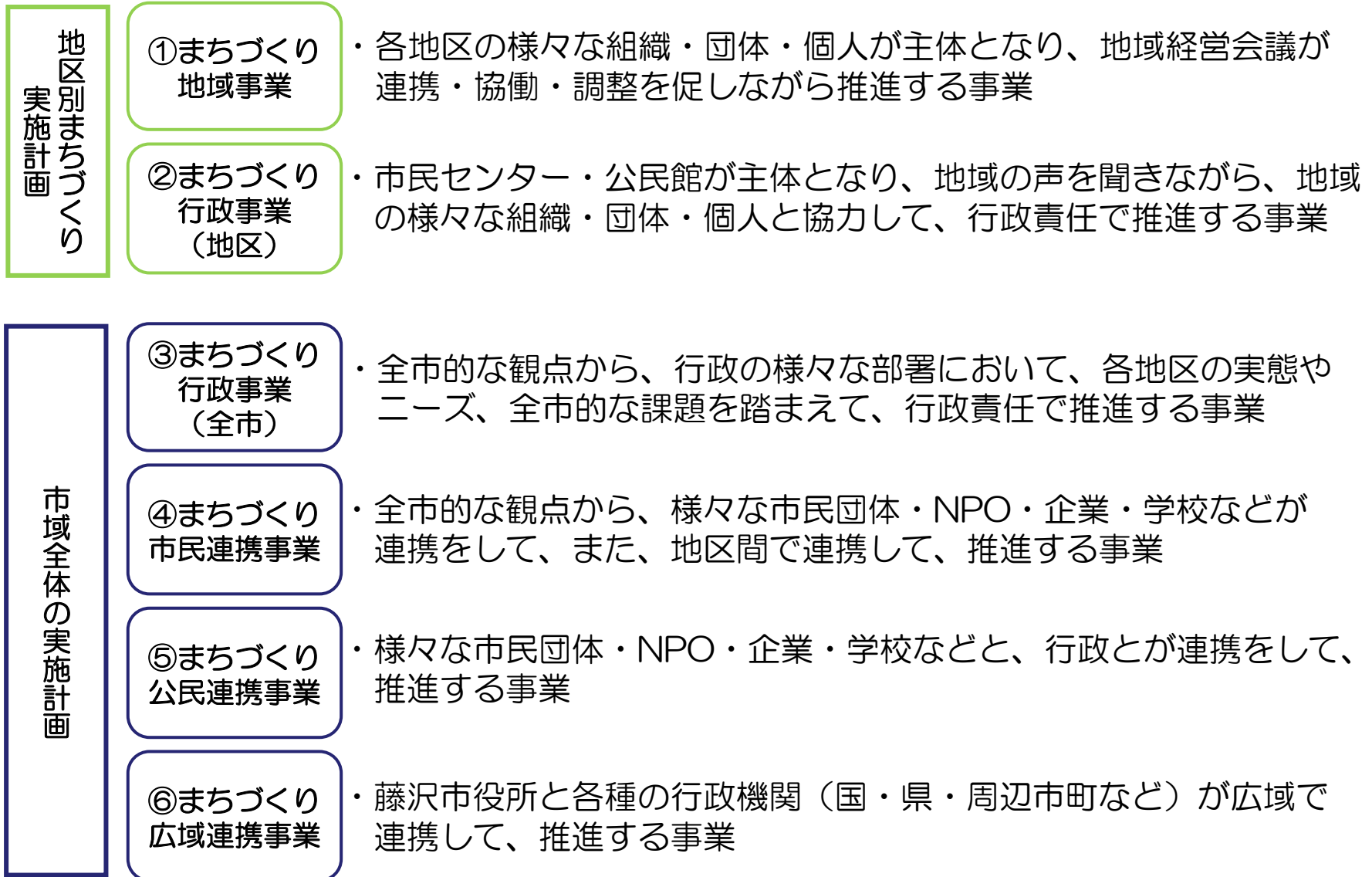


基本計画で掲げた「重点・ふじさわ未来課題」とそれを具体化した「地域まちづくり目標（各地区）」  
「戦略目標（市域全体）」の実現へと前進するために、具体的に実施することが「まちづくり事業」です。



## ◆ 「まちづくり事業」を検討するときのポイント

- ① 「地域まちづくり目標」「戦略目標」の実現に貢献し、その結果、「重点・ふじさわ未来課題」の実現へと前進するものを掲げる
- ② 共通の「まちづくり活動」や「政策」のもとで、複数の「まちづくり事業」を検討する
- ③ 様々な組織・団体・個人が連携しながら、それぞれが主体的に進めるものを検討する
- ④ よりよい成果を実現することや、地域協働を推進するために、様々な組織・団体・個人等から相互に共感や協力が得られるものを検討する



## 【まちづくり行政事業（市域・地区）】

- ・ 行政が責任を持って実施するもの
- ・ 行政評価や進捗管理に利用可能なものを掲げる
- ・ 行政が、地域の声を聞きながら、様々な地域組織・市民団体などとの協力関係も構築して推進する

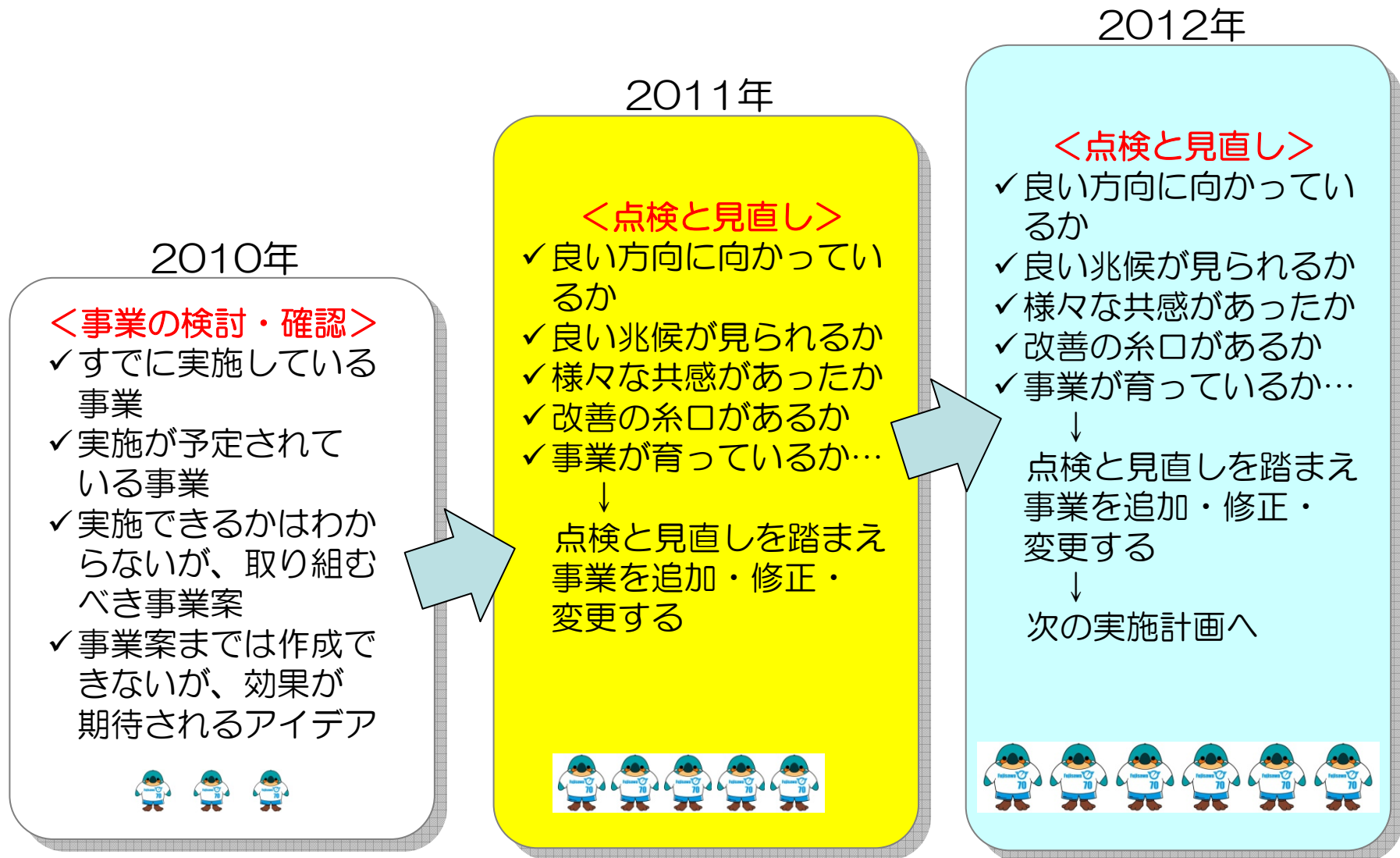
## 【まちづくり地域事業】

- ・ 地域の様々な組織・団体が主体的に取り組むもの
- ・ 試行錯誤をしながら、徐々に育てて前進していくもの
  - 毎年、追加・修正・変更をしながら進めていく
  - 数年かけて徐々に育てていく
- ・ 責任を負わせるもの、管理するもの、強制的に押しつけるものではない

## 【まちづくり連携事業（市民連携・公民連携・広域連携）】

- ・ （単独で行うよりも）効果的かつ効率的な成果が期待できるもの
- ・ 知恵と工夫が求められるもの
- ・ 試行錯誤を繰り返しながら、多くの団体・組織等が関わるものにしていき、目標の実現へと繋げるもの

# 徐々に育てる「まちづくり事業」





# まちづくり事業検討シート

(地域事業・市民連携事業・公民連携事業)

|              |     |
|--------------|-----|
| まちづくり目標/戦略目標 |     |
| 地域まちづくり活動/政策 | 活動一 |
| 指標の視点        |     |

③【事業検討】「準備シート」で確認・追加した既存・新規事業からいくつか選んで詳細を検討(1頁1事業)

(事業名)

④【事業のポイント】事業を行う上で大切なことは?(「気づき」などを参考に検討)

⑤【担い手】この事業はどういった担い手による活動が効果的ですか?(「気づきや役割の担い手を参考に)

⑥【工夫】事業を進める際に必要となる工夫や事業が直面する難しさは何ですか?

⑦【実現したいこと】1年後/3年後にはどのようなになっていると良いのでしょうか?

(1年の間に、誰が、何をして事業が進んでいるのでしょうか?)

(3年後には、事業がどのように変化していくのでしょうか?)

⑧【点検】1年後に「点検シート」で以下の振り返りをします。

- 事業の効果は出ていますか?(指標の改善、関係者の実感など)
- 何か良い兆候やエピソードはありますか?
- 工夫が必要なことは何でしたか?
- 継続しますか?改善すべきことは?
- 連携や継承すべき事業は何ですか?
- 追加または代替したい指標  
( )
- その他のチェックポイント  
( )

<この事業らしいイラスト・写真>

# まちづくり事業準備シート

(地域事業・市民連携事業・公民連携事業)

●●地区01

|              |  |
|--------------|--|
| ふじさわ未来課題     | 7 お互いがマナーを守り、助け合いの心で過ごせるまちであること<br>(重点課題としての選定根拠) ①協働型の課題解決で価値向上へ  |
| まちづくり目標/戦略目標 | 01 みんなが公共のマナーを守るまち   |
| 指標           | ①公共のマナーを守っていると感じる人の割合<br>②   |
| (現状値)        | ①2010年●% ②2010年●%  |
| (めざそう値)      | ①2013年●% 2016年●% ②2013年●% 2016年●%  |
| (役割の担い手)     | ①[個人・家庭●%][市民団体・NPO●%][地縁組織(自治会・町内会など)●%]<br>[企業・商工会議所・農協など●%][学校・幼稚園・保育園●%][行政●%][その他●%]<br>②[個人・家庭●%][市民団体・NPO●%][地縁組織(自治会・町内会など)●%]<br>[企業・商工会議所・農協など●%][学校・幼稚園・保育園●%][行政●%][その他●%] |
| 目標の背景・方向性    | 自転車の運転・駐輪、ペットの飼育、ゴミ処理などの公共マナーを守り、●●のまちから迷惑行為をなくしていきます。   |

|              |                    |
|--------------|--------------------|
| 地域まちづくり活動/政策 | 活動-1 迷惑行為撲滅活動の推進   |
| 指標の視点        | 地域から迷惑行為がなくなっていること |

①【現状確認】すでに取り組みされていることは？(誰がどのような事業を行っていますか?)

- ・防犯パトロール(自治会・防犯協会)
- ・違法駐輪の防止・撤去(市)
- ・自治会清掃活動(自治会)

②【事業追加】新たに追加すると良いことは？(目標や背景・方向性をヒントに検討)

- ・みんなで清掃すると割引キャンペーン(自治会・商店街)
- ・ペット飼育マナー情報冊子の配布(市民ボランティア・自治会)
- ・通学路でのポイ捨てやめよう活動(PTA)

|              |                             |
|--------------|-----------------------------|
| 地域まちづくり活動/政策 | 活動-2 歩行者、自転車、車の通行ルール遵守活動の推進 |
| 指標の視点        | みんなが交通ルールを守り安全に移動できること      |

①【現状確認】すでに取り組みされていることは？(誰がどのような事業を行っていますか?)

- ・交通パトロール(交通安全対策協議会)
- ・夏季の地区巡回(藤沢北警察)
- ・小学生への交通安全教室(市)
- ・違法駐輪の防止・撤去(市)
- ・交通安全指導(学校)

②【事業追加】新たに追加すると良いことは？(目標や背景・方向性をヒントに検討)

- ・自転車と歩行者が接触しやすい場所マップ(小学校・PTA・商店街・自治会)
- ・通学時間の見守りボランティア(自治会・PTA)



# まちづくり事業検討シート

(地域事業・市民連携事業・公民連携事業)

●●地区01-2

|              |                             |
|--------------|-----------------------------|
| まちづくり目標/戦略目標 | 01 みんなが公共のマナーを守るまち          |
| 地域まちづくり活動/政策 | 活動一2 歩行者、自転車、車の通行ルール遵守活動の推進 |
| 指標の視点        | みんなが交通ルールやマナーを守り安全に移動できること  |

## ③【事業検討】「準備シート」で確認・追加した既存・新規事業からいくつか選んで詳細を検討(1頁1事業)

(事業名)

自転車と歩行者が接触しやすい場所マップ(小学校・PTA・商店街・自治会)

## ④【事業のポイント】事業を行う上で大切なことは?(「気づき」などを参考に検討)

寄せられた「気づき」の中に自転車のマナーや歩行者が危ないと感じる場所があるという声が多くあった。自転車の交通事故も多いが、特に注意すべき場所がわからないために起きていると考えられるため、注意すべきところの情報提供を行うことが、細い道が多く交通面での危険を感じやすい●●地区での、まちづくり目標「みんなが公共のマナーを守るまち」、さらに、ふじさわ未来課題「お互いがマナーを守り、助け合いの心で過ごせるまちであること」の実現につながると考えられる。また、地域や人のつながりが少ないことが、ちょっとした当たり前の気配りをなくしているとも考えられるため、広く様々な世代に気づいてもらえる活動の方法がポイントになると考えられる。

## ⑤【担い手】この事業はどういった担い手による活動が効果的ですか?(「気づきや役割の担い手を参考に)

- ・こどもの事故が多いのと、こどもの視点での安全やマナー向上を図ることは大人にも効果があるので、こどもを中核に据えた活動が大切であり、小学校やPTAによる活動が出来ると理想的。
- ・地図の配布は自転車がよく集まる場所で行うのがよく、商店街の協力が必要である。
- ・地図に掲載された内容に従って、安全やマナー向上の活動を自治会で考えられるとよい。

## ⑥【工夫】事業を進める際に必要となる工夫や事業が直面する難しさは何ですか?

- ・担い手も事業の参加者も固定されがちであるため、様々な人を巻き込むことが必要。
- ・地図を作成する予算が必要。広告収入や行政の補助などを相談する。
- ・マップをつくるだけではなく、目に触れる工夫が必要。

## ⑦【実現したいこと】1年後/3年後にはどのような状態になっていると良いのでしょうか?

(1年の間に、誰が、何をして事業が進んでいるのでしょうか?)

- ・多くの人々が、マップのために情報を提供し、危険箇所の情報を多くの参加によって集まる。
- ・その地域にあったマップが地域の商店街の店頭で掲示され、配布されている。
- ・交通安全対策協議会でその内容を確認し、対策が必要な箇所が検討されている。

(3年後には、事業がどのように変化していくのでしょうか?)

- ・交通安全対策協議会と警察によって、重点的な危険箇所の特定と改善がなされる。
- ・活動の報告を毎年行い、マナーアップ運動を実施するための計画が進む。
- ・住民一人ひとりが、その移動方法に応じた交通マナーを意識するようになっている。

## ⑧【点検】1年後に「点検シート」で以下の振り返りをします。

- 事業の効果は出ていますか?(指標の改善、関係者の実感など)
- 何か良い兆候やエピソードはありますか?
- 工夫が必要なことは何でしたか?
- 継続しますか?改善すべきことは?
- 連携や継承すべき事業は何ですか?
- 追加または代替したい指標  
( )
- その他のチェックポイント  
( )

<この事業らしいイラスト・写真>

